























# 業種別景況予測

## 平成23年10月～12月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			ドル予約に多少影響がでてきている。震災の特需でプラスの面もあり。8月期は一時的に、加工量が増えたが、9月期は激減したとのコメントあり。			
繊維 ファッション			廃業する同業者も多く、業界の過疎化が進んでいる。早くデフレ脱却を望む声あり。デフレ進行は引き続き心配だが、新企画が順調で全てマイナスをカバーできたというコメントもあり。			
工業			輸出契約の減少のため、一部円建契約に変更した事業所がある様子。また、最低賃金の上昇に伴う人件費増加により、収益の悪化が懸念される。			
建設			震災で止まっていた住宅着工数等が一過性のものだと思うが、増えている様子がある。			
運輸倉庫			トラックが古くなり修理代が増え、新車に代替えできず、減車する業者が増えている（新車等を購入しても今の運賃では採算が合わない）との声あり。燃料費が高値ではあるが、少し落ち着いた。経費が多大であるとのコメントあり。			
金融理財			近畿圏内に関する住宅投資は、全体として下げ止まりの動きがみられ、住宅着工は前年を上回っている様子。震災の関係で年配者の相談が多く、30～40代は時代の流れに対し、様子を見ている気がするとの声あり。			
一般商業			天候不順による野菜価格の変動が激しい。輸出入からは円高により業績はマイナスに反映しているとのコメントあり。近畿圏内においては、個人消費は緩やかに持ち直しているようである。			
サービス業			介護業界からは、低賃金のため現場が悲鳴を上げている。大手企業の低価格化に引っ張られ、どうしても比べられるとの声あり。好転のきざし未だ見えず、ただただ耐えるのみ。			

(調査概要) ●調査実施 平成23年10月 ●調査対象企業 249社 ●回答数90社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向をまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にいただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111